町の“いま”を伝える
広報いわてまち
Iwate-machi Monthly Public Relations Paper
No.693
3
2017[平成29]年

“未来を拓く”パスの先、目指すはバレーで日本一！

元五輪選手が教えるバレーボール教室が森のアリーナで行われました。五輪金メダリストらが基本技術を伝授。町のスポーツ少年団、岩手びっきぃ～ずはバレーボールで日本一を目指し、未来を切り拓(ひら)きます。（２月５日、森のアリーナ）

■主な記事

● 3町自治体サミット2017…2-3ページ
● 教育を高めて進む町づくり大会…4ページ
● 豊かな農村づくりシンポジウム…6ページ

3町自治体サミット2017で地域づくりへの思いを語った左から岩手町の三浦大樹さん、深谷政光雫石町長、前田終止霧島市長、民部田幾夫町長、鈴木重男葛巻町長、葛巻町の藤森康隆さん、雫石町の相沢潤一さん

岩手町 自治体サミット2017 雫石町 葛巻町

岩手町、雫石町、葛巻町が主催する「3町自治体サミット2017」は2月12日、森のアリーナで行われました。鹿児島県霧島市の前田終止（しゅうじ）市長の基調講演が行われたほか、3町長がそれぞれの町の地域力を高める取り組みを紹介。また、町の魅力を全国に発信するため、地元で活躍する3人のゲストと3町長によるパネルディスカッションを行い、会場に集まった約600人とともに日本一を目指し、未来を拓（ひら）く決意を新たにしました。

前田 終止【まえだ しゅうじ】氏
鹿児島県霧島市長
自らを「小さな○型市長」と称し、強いリーダーシップと情熱で魅力あふれる市政を展開。

霧島市のふるさと創生 市民が主役の町づくり

基調講演は、鹿児島県霧島市の前田終止市長を講師に迎えて行われました。「ふるさとの創生に向けて『新たなる挑戦!!』舞台は霧島!市民が主役!」と題した講演では、前田市長が実際に展開する市政と霧島市独自の取り組みを紹介。集まった約600人の参加者は、地域づくりにかける熱い思いに聞き入りました。

前田市長は「情熱こそが人を動かし、地域を作る」という信念をもとに市民と向き合い、対話をしながら町づくりを進めてきたエピソードを披露。霧島市をPRする法被（はっぴ）姿で時折ユーモアを交えて講演しました。

また、市全域の思いを1つにするため、市民に向けたPR動画を作成した事例を挙げて「霧島市は6つの市町が合併してできた市。足を引っ張り合うよりも、お互いに背中を押して手を取り合い、褒め合う意識が必要だ」と強調。人口12万人の市を先頭に立って引っ張り、「日本一のふるさと・霧島市」を目指す心意気を示しました。

雫石町や葛巻町からも約150人が参加した3町自治体サミット2017。パネルディスカッションではIBCアナウンス学院の学院長でもある河辺邦博さんが司会を務めて、各地域の魅力を引き出しました

3つの町の代表が意見交換 各地域の魅力を全国に発信

地域活性化のために必要なものとは？

小さな試みは大きな挑戦につながる。視野を広げて〝チャレンジ〟を。

三浦 大樹 さん＝太田＝㈱アンドファーム販売企画部部長
ベトナムでの野菜生産など、日本一の情熱で農業に取り組む。

強い農業経営体として成長するためには、ブランド力や広報能力が必要です。消費者も生産者も、従業員も満足度が高い会社として成長していきたいと思います。

岩手町は東北一のキャベツの生産地。かつては日本一という時代もありました。地域活性化のためのキーワードは〝チャレンジ〟。これからも農業の新たな可能性にチャレンジしていきたいです。

それぞれできることは違う。大切なのは、〝一人一人が主役〟という意識

藤森 康隆 さん＝葛巻町＝JA新いわて青年部葛巻支部長
葛巻町を日本一の酪農郷にしようと、酪農の魅力を伝えている。

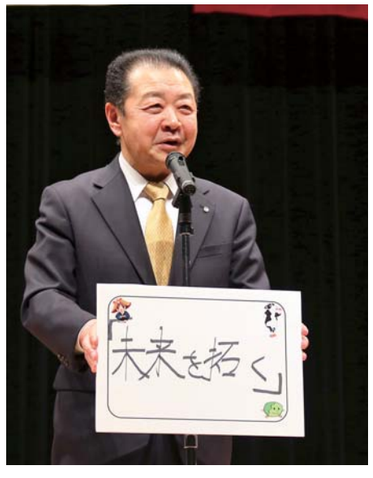
仲間づくりから始まる地域づくり。キーワードは〝ネットワーク〟

相沢 潤一 さん＝雫石町＝
しずくいし軽トラック市実行委員長
全国初の軽トラ市を開催し、日本中に魅力を発信。

自治体サミット3年目の集大成 各町長が町づくりへの決意を表明

今回で3年目を迎えた3町自治体サミットの締めくくりは、それぞれの町長による町づくりへの宣言。深谷政光雫石町長は、農業、観光、商工それぞれが町の主役という思いから〝みんなが主役〟と地域活性化へのキーワードを掲げ、鈴木重男葛巻町長は〝夢しか実現するものはない〟と町一丸で夢に向かって挑戦し続けていく決意を表明しました。

民部田町長は〝未来を拓（ひら）く〟をキーワードに「これまで3回のサミットで、多くの情報を発信してきた。未来は変えることができる。地域力を高め、力を合わせて新たな課題に挑んでいこう。それぞれの分野で情報を発信し続け、努力を重ねることで、未来は拓ける」と力強く宣言。日本一の地域づくりに向け、参加者とともに決意を新たにしました。



― 日本一を目指し、未来を拓く ―

教育を高めて進む町づくり大会

～学校・家庭・地域の連携を深めて子どもに生きる力をつける～

各中学校区で実践する教育振興運動の事例を発表し、地域ごとの特色ある取り組みを紹介した発表者の皆さん

生きる力を養う教育 各地域の特色を発表

教育を高めて進む町づくり大会は1月29日、森のアリーナで開催されました。この大会は、青少年の健全育成を願い、子ども・家庭・学校・地域社会・行政が連携して教育を充実させるための教育振興運動の一環。当日は、沼宮内・川口・一方井の中学校区ごとにそれぞれの地域で取り組む事例を発表しました。

沼宮内中実践区は、駅前・犬袋地区の取り組みを紹介。AED講習会や地域の巡回を通じた健康と安全確保への取り組みについて発表。一方、川口中実践区は学校で取り組む防災教育や実際の体験学習を通じて、家庭でできる防災教育について意見を披露しました。また、一方井中実践区は家庭と地域、学校の連携を強めるために実践区全体で教育振興に取り組んでいる様子を紹介。情報メディアとの関わりや、家庭で取り組む学習や読書にも触れ、児童生徒と保護者、地域の人が関わり合いながら進める人材づくりについて発表しました。

児童生徒の成果発表 4人が壇上で堂々と

児童生徒の発表では、本年度各賞を受賞した4人が堂々と自身の作品を披露しました。このうち、一方井中の八尾咲さん（3年）は自身が経験したカナダへのホームステイで感じたことを身振り手振りを交えながら感情豊かに表現。積極的にコミュニケーションをとれる外国人と消極的な日本人の違いや、感情の表現方法について自身の考えを明確に述べながら、「わたしの主張」北岩手地区大会で優秀賞に輝いた実力を発揮。巧みな表現で集まった参加者を惹きつけました。

平成28年度「わたしの主張」北岩手地区大会優秀賞 一方井中3年 八尾 咲 さん

第62回青少年読書感想文県コンクール県教育長賞 沼宮内小5年 小野 そら 君

第62回青少年読書感想文県コンクール県書店商業組合理事長賞 川口小2年 斉藤 リナ さん

第62回青少年読書感想文県コンクール盛岡市教育長賞 一方井小6年 尾形 駿介 君

高齢者いきいき学級
沼宮内ひなまつり交流会

日米友好の歴史学び 童謡と昔遊びで交流

沼宮内公民館（髙橋満分館長）と沼宮内小（佐々木一成校長、児童数278人）が主催する沼宮内ひなまつり交流会は2月20日、沼宮内小で行われました。当日は沼宮内小の1年生と児童の家族、沼宮内地区老人クラブの会員ら約80人が参加して童謡を歌い、さまざまな昔の遊びを体験。だるまおとしやけん玉に挑戦した荒屋柊花さんは「家ではやらない遊びだけど、飽きないし、楽しい」と笑顔で世代間交流を楽しみました。

また、ひなまつりを祝うと同時に、日米友好の証として昭和初期に米国から贈られた人形「メリーちゃん」や平成に入ってから贈られた「ジャッキーちゃん」について学習しました。日米友好人形に詳しい吉田幸助さん（83）＝下大町＝が米国から人形が贈られた経緯や日本からの返礼人形について説明。児童らは、歴史ある日米の友好の証に理解を深めました。

石神の丘美術館は2月10日から19日まで、バレンタインイルミネーション2017を開催しました。期間中は屋外展示場に約6万球のイルミネーションを設置。同美術館の初夏の名物・ラベンダー畑を連想させる紫色の電球が冬の夜を彩り、幻想的な光のアートで訪れた約4千人の来場者を魅了しました。

また、レストラン「石神の丘」や国道4号からもイルミネーションを楽しんでもらおうと、道の駅のフェンスや樹木にも装飾が施されるなど、美術館が併設された道の駅ならではの芸術的な取り組みが話題を集めました。

豊かな農村づくりシンポジウム2017

町豊かな農村づくりシンポジウム2017は2月16日、プラザあいで開催されました。当日は町内の農業関係者約100人が参加。昨年開かれた農林産物共進会の表彰式や野生獣被害防止対策の事例発表などが行われ、多様化する農業の課題について理解を深めました。

生産者の努力に栄光
農林産物共進会表彰式

はじめに、第36回町農林産物共進会の表彰式が行われました。昨年10月に開かれた同共進会には、10部門377点の農林産物が出品され、この日は各部門で入賞した生産者57人を表彰。受賞者には、民部田幾夫町長などから賞状と記念品が手渡されました。

野生獣被害への対策
実践した事例を発表

表彰に引き続き、野生獣被害防止対策について八幡平農業改良普及センターの小原善一普及員が事例発表を行いました。町では、キャベツやトウモロコシなど約400㌶の畑で、ニホンジカなどの野生獣による食害が深刻化。同センターは、電気柵を活用した食害対策に取り組んでおり、その技術の普及や指導、人材育成に取り組んでいます。小原普及員は「電気柵による防御に加え、野生獣の増加抑制や農業者同士の協力体制、地域ぐるみで被害防止に取り組むなど、横のつながりを強めることが必要。普及センターも町もみんなで取り組むべき」と被害防止に向けて参加者に呼び掛けました。

女性農業者が基調講演
農業から地域を元気に

また、雫石町のファーム菅久、菅原紋子（あやこ）常務取締役が「ファーム菅久のチャレンジ～いわてのお米をもっとおいしく～」と題して講演。農業を主軸に商品開発や販売まで、幅広く事業を展開する同社の取り組みを紹介しました。菅原さんは、自身が農業に携わりながら感じる思いを熱弁。「大好きな雫石の田園風景を次世代に残したい。子どもたちにも農業の魅力を知ってもらい、農業分野から地域を盛り上げていきたい」と語りました。

農林業を取り巻く環境が厳しさを増す中、多様化する農業分野の課題に向き合いながら前進を続ける町の農業。その魅力を発信し、地域一丸となって豊かな農村づくりに取り組む町の農業関係者の今後の活躍が期待されています。

①野生獣被害防止対策の実践事例を発表し、電気柵の有効性と防止対策の重要性を紹介する小原善一農業普及員　②農林産物共進会の表彰式　③基調講演の講師を務めた菅原紋子さん

県農林水産部長と町の認定農業者が懇談

食料生産基地・岩手町「農業者の連携」を語る

①耕畜連携の取り組みとして自社で展開する循環型農業について発表するキロサ肉畜生産センターの村山義幸さん　②町の農業に関わるさまざまな話題について情報交換する参加者の皆さん

食料生産基地として農業者間の連携を発信

第10回県農林水産部長と町認定農業者との懇談会は1月30日、プラザあいで行われました。当日は、県内有数の食料生産基地である町の農業者の連携をテーマに3組の農業関係者が活動を紹介。参加者は、野菜やコメの生産者と畜産事業者が連携して取り組む「耕畜連携」や親子で農業経営に取り組む「世代間連携」について理解を深めました。

「耕畜連携」に取り組むキロサ肉畜生産センターの村山義幸さんは「畜産事業で生まれる良質なたい肥を田畑に還元することで循環が生まれる。畜産と野菜やコメが連携することで、岩手町は日本一の食料生産基地になりえる」と力を込めました。

紺野由夫農林水産部長は「それぞれの課題を把握して農業に取り組む岩手町は、生産基盤がしっかりしている。さらなる農業発展のために生産者と町、県が連携してともにいい町、いい地域づくりに取り組みましょう」と参加者に呼び掛けました。

平成28年度公衆衛生功労者表彰

町公衆衛生連絡協議会の理事を務め、環境衛生の向上と公衆衛生組織の強化に尽力した功績が認められた2人の受賞者を紹介します。

県公衆衛生組合連合会長表彰
久慈 幸雄（さちお）さん（66）＝上浮島＝

県知事表彰
大下 享弘（きょうこう）さん（64）＝新町＝

ふやそう元気！ へらそう病気！ 支えよう いのち！

3月は自殺対策強化月間です

この言葉は、町の健康づくりスローガン。みんなで支え合い、一人一人が心の健康づくりに取り組みましょう。

町ぐるみで進める自殺予防の対策

地域自殺対策推進センターが公表した統計では、町の自殺者数は減少傾向にあるものの、人口の割合から見ると全国や県の水準よりも高く、平成21年から27年までの7年間で49人が亡くなっています。

町では、心の健康づくりを推進するために「自殺対策・こころのネットワーク会議」を平成22年2月に設置。町ぐるみで心の健康づくりに取り組んでいます。

自殺対策・こころのネットワーク会議の様子

小中高生に対して精神科医が講演

町が行う自殺予防対策の一つに、児童生徒を対象にした「こころの健康づくり講演会」があります。思春期を迎え、成長過程で心が揺れ動く小中学生、さらには高校生を対象に心の健康の重要性を認識し、知識を深めてもらうことを目的としています。

友達の大切さ、本音で話ができる環境や相手を理解しようと歩み寄る気持ちの大切さ。年代に応じた心の健康づくりを分かりやすく伝えています。

本年度は、沼宮内小、沼宮内中、川口中、一方井中と沼宮内高で講演会を実施。精神科医が講師を務める講演会では、児童生徒にも分かりやすい内容で心の健康づくりについて考える機会を提供しています。

小学生向けに開催された講演会。背中合わせで思いを伝え合うゲームに挑戦する様子

心の健康を支えるボランティアの活動

町には、皆さんの心の健康を支え、さまざまな行事で活躍している団体があります。

○傾聴ボランティア団体「おひさま」

「おひさま」は、傾聴ボランティア養成講座を修了した皆さんが平成23年9月に設立。現在20人の会員で活動しています。

悩みを持つ人の話に耳を傾けることや一人暮らしの人との会話を通じて、悩みや不満を一人で抱え込まないように心の健康を保つ活動を展開。各地域の健康いきいきサロンや高齢者施設を訪問して傾聴活動を続けています。

○精神保健ボランティア「しののめの会」

「しののめの会」は、精神保健ボランティア養成講座を修了した皆さんが平成12年5月に設立。現在14人の会員で活動しています。いわて育心会やひこうせんいわてなどの福祉施設の行事の運営をサポートしています。

○その他

町保健推進員協議会は地域の見守り活動をしながら健康推進活動を実施。食生活改善推進員協議会は、食を通じた体と心の健康づくりに取り組んでいます。民生委員児童委員協議会や婦人団体連絡協議会、老人クラブ連合会は地域で声を掛け合い、行事への参加を促すなど地域の人との交流を大切にしながら、楽しみや生きがいを提供。町の各団体が一丸となって心の健康づくりを推進しています。

1人で悩まず相談を

自殺予防対策には、心の健康の保持が不可欠。心配事や悩みがある人は、1人で悩まずにまずは相談しましょう。

相談機関	電話番号
役場 健康福祉課	62-2111 内線513
県央保健所	019-629-6574
県精神保健福祉センター （こころの電話）	019-622-6955

平成28年度 町職員給与の公表

町職員の給与は、国や県の制度に準じて決められ、町議会での予算、給与条例の審議を通して明らかにされています。ここでは、町の皆さんに一層ご理解いただくため、そのあらましを紹介します。

詳細については、町公式ホームページで各年度ごとに公表しています。

【町ホームページ】
http://www.town.iwate.iwate.jp/gyosei/kyuyo/

問 役場総務課行政係 ☎62-2111 内線204、205

表1　人件費（平成27年度一般会計決算）

歳出額（A）	人件費（B）	人件費率（B／A）	参考：前年度の人件費率
7,906,894千円	1,140,104千円	14.4%	13.7%

※人件費には、議員などの特別職報酬も含まれます

表2　年齢と給料・給与の平均（H28.4.1現在）

区　分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
行政職	42.0歳	309,254円	354,849円
福祉職（保育士）	53.4歳	318,960円	335,378円
医療職（保健師・栄養士）	39.2歳	294,344円	331,226円
技能労務職	55.0歳	302,450円	313,758円

※「平均給料月額」は、職種ごとの基本給の月額平均。「平均給与月額」は給料と扶養手当、時間外勤務手当などの諸手当を合計した月額平均です

表3　初任給（H28.4.1現在）

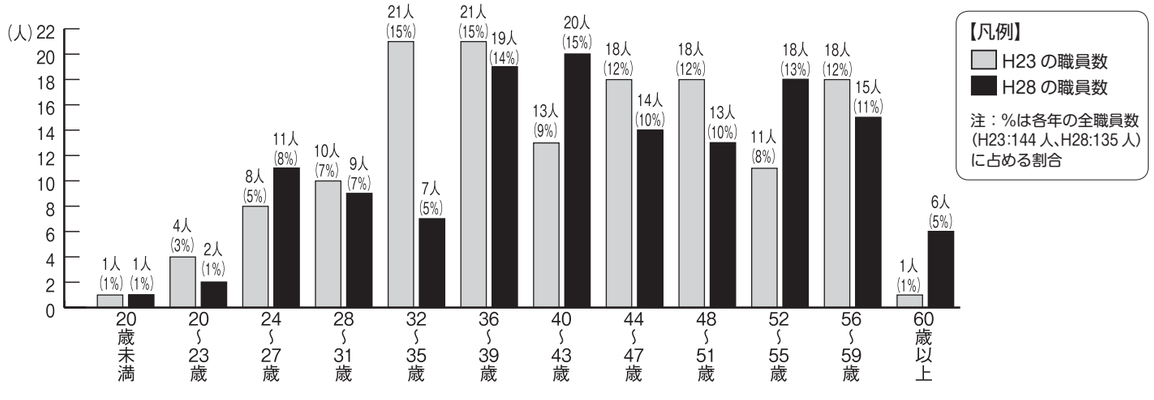
区　分		初任給	2年後の給料
一般行政職	大学卒	166,100円	181,800円
	短大卒	154,300円	164,700円
	高校卒	144,600円	153,000円
福祉職（保育士）	短大卒	166,400円	177,200円
医療職（保健師・栄養士）	大学卒	206,300円	216,200円
技能労務職（用務員など）	高校卒	142,000円	150,300円
	中学卒	134,000円	140,900円

表4　一般行政職の級別職員数（H28.4.1現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事または主事補の職務	19人	17.4%
2級	副主任の職務	7人	6.4%
3級	副主幹または主任の職務	45人	41.3%
4級	主幹等の職務	23人	21.1%
5級	課長等の職務	10人	9.2%
6級	町長が別に定める	5人	4.6%

※級区分は岩手町給与条例に基づいています。職務内容は各級に該当する代表的な職務です

グラフ1　年齢別職員構成と推移（H23.4.1およびH28.4.1）



まち ひと きらり

投稿と問い合わせは役場企画商工課企画広報係 ☎62-2111［内線217］まで

いつかどこかで

北上川の源泉 ろ舁の泉

スマイル Smile Babies ベビー

1歳児健診に来てくれたお子さんのかわいい笑顔を紹介します。

お子さんの紹介
なまえ（地区）
保護者から一言

沢村淳平さんの長男
沢村 哲平（てっぺい）**くん**（水堀）
元気でたくましい子になってね。

遠藤義徳さんの長女
遠藤 心結（みゆ）**ちゃん**（中田）
元気に育ってね。

佐藤優さんの次女
佐藤 心咲（みさき）**ちゃん**（大渡）
お姉ちゃんに負けず元気に育ってね。

三ツ平博貴さんの次女
三ツ平 優稀（ゆき）**ちゃん**（上苗代沢）
ニコニコ笑顔が似合う優しい子になってね（^_^）

福士紘平さんの長男
福士 泰冬（ひろと）**くん**（尾呂部）
ファンキーに生きてね。

木影克利さんの長男
木影 航大（こうだい）**くん**（山道）
たくさんのえがおをみせてね！！

My Dream 僕の夢 私の夢 No.331

滝本（たきもと） 楓夏（ふうか） さん（川口小5年）

町で一番の学校に！

絵を描くことが好きな楓夏さんは、家の庭に咲く花の絵や家族が釣ってきた魚の絵を描きます。楓夏さんの将来の夢は、「画家になること」。家にも絵が飾ってあり、幼いころから絵に親しんできました。ピアノも習っているという楓夏さんは、発表会でたくさんの人の前で演奏を披露。4月からは児童会長として学校を引っ張ります。「自信を持って町で一番と言える学校を目指します！」と目標を掲げた楓夏さん。夢を叶え、目標を達成するために笑顔で未来を見据えます。

お元気ですか No.326

元気で続けられることが一番

柴田（しばた） イル子さん（82）＝下愛宕下＝

沼宮内公民館のサークル活動で木目込み人形作りなどの手芸に真剣な表情で取り組むイル子さん。「サークルの皆さんに手伝ってもらいながら、楽しんでいますよ」と笑顔を見せます。町内の病院に約40年勤めていたというイル子さんは「仕事を元気に続けられたことが一番楽しかった」とほほ笑みます。数年前に交通事故に遭ってしまいましたが、今も懸命にリハビリを続けています。人生で大切なことは？という質問には「たくさんあって、これが一番とは言えないね。すべてのことが大切ですよ」と優しく答えてくれました。「春になったら陶芸教室にも通います」と話すイル子さん。活気に満ちた表情で精力的に活動しています。

Topics01 減塩メニューにレモンの力 食生活改善のための学習会

町食生活改善推進員協議会（千葉智子会長）は1月25日、減塩のための講習会と調理実習を行いました。脳卒中や高血圧症予防のための減塩を、レモンの力を使って効果的に実現しようと「レモンと健康」と題して研修を実施。食生活の改善を推進して健康づくりをサポートする同会のメンバー32人が参加しました。参加者はレモンが持つ健康作用と効果的な利用方法を学び、調理実習でレモンを使った減塩対策を実践しました。

この日のメニューは、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社が提供したもので、レモンを使うことで塩分の過剰摂取を抑制できる健康レシピ。普段使っている調味料の代わりとしてレモンを使う技術を学んだ参加者は、手際よく調理を進めながらレモンの持つその魅力を実感していました。

①レモンの特性や利用効果を学ぶ参加者 ②調理実習の様子 ③完成した減塩メニュー

Topics02 南山形地区の無病息災願う 地域で祝う30回目の歳祝い

南山形地区の厄払いと歳祝いは2月5日、南山形高齢者等活性化センターで行われました。南山形地区各種団体連絡協議会（太布治三郎会長）が毎年開催しているこの行事は、今年で30回目。地域の密接なつながりとともに迎えた節目を、参加者が一体となって祝いました。

同地区では、地域での交流を深めようと厄払いと歳祝いに加え、新成人も祝っています。当日は、対象となった7人のうち4人が出席。参加した約40人の地域の皆さんとともに、神事や豆まき、餅つきなどを行って無病息災と健康を願いました。

太布会長は「地域の行事として30回目の節目を迎えることができました。この1年間をみんなで元気に過ごしましょう」と節目を祝いながら、地域ぐるみの無病息災を願ってあいさつ。対象者を参加者全員で囲んで記念撮影を行いました。

①30回目の節目を迎えた地域の歳祝いに参加した南山形地区の皆さん ②威勢のいい掛け声とともに笑顔いっぱいで餅つきを行います ③厄払いのため勢いよく豆まき

▼2017.02.15

地域医療の在り方学ぶ
○町婦協映画上映会

町婦人団体連絡協議会（大坊邦子会長）主催の映画上映会は2月15日、プラザあいで行われました。地域医療をテーマにした映画「増田進 患者さんと生きる」を上映。映画は、かつて全国に「保健の村」として知られた沢内村（現・西和賀町）で医療活動に従事した医師を題材に制作されたもの。大坊会長は「町も地域医療に関わる悩みを抱えている。一人一人が地域医療への考えを深めるきっかけにしてもらいたい」と上映に至った思いを語りました。

地域医療について考えを深めようと映画が上映される様子

▼2017.02.18

高齢社会の未来考える
○在宅高齢者支援フォーラム

在宅高齢者支援フォーラムは2月18日、プラザあいで開催されました。盛岡広域振興局が主催して行われたこのフォーラムには、町内外から約250人が参加。高齢者支援や在宅療養、訪問看護などの視点から意見交換が行われました。基調講演の講師を務めた「高齢社会をよくする女性の会」の樋口恵子理事長は「家族が少なくなっている中で高齢化が進んでいる。地域で支え合う体制が必要」と地域が一体となった支援の必要性を訴えました。

基調講演で高齢者支援の在り方を語る講師の樋口恵子さん㊥

▼2017.02.18

県北の暮らしひもとく
○町中央公民館歴史講座

町中央公民館主催の歴史講座は2月18日、ゆはず交流館で行われました。「明治天皇の巡幸にみる岩手県北部の暮らし」と題した講座は、盛岡大学の熊谷常正教授を招いて開催。参加者は沼宮内地区や御堂観音など、町の各地にも立ち寄った明治天皇の巡幸の行程やその目的について学習しました。また、残された明治天皇巡幸の資料から、明治時代の町周辺を含めた県北部の人々の暮らしをひもとき、歴史や文化の知識を深めていました。

天皇の巡幸から人々の暮らしをひもとく講師の熊谷常正さん

▼2017.02.12

軽快なメロディ奏でる
○音を楽しむ会定期演奏会

吹奏楽グループ「音を楽しむ会」（西田拓広代表）の第18回定期演奏会は2月12日、プラザあいで開催されました。会場には、軽快な演奏を楽しもうと約130人が来場。当日は、同会の会員のほかにも、沼宮内中や沼宮内高の吹奏楽部員も参加して、賛助出演者を含めた36人が演奏会を盛り上げました。

クラシックの名曲や映画で使われた音楽、子どもに人気のアニメソングなどを披露。幅広い世代の聴衆を魅了しました。

練習の成果を発揮し、軽快なメロディで聴衆を魅了する演奏者

職場や地域の仲間が結集
○町ナイターバレーボールリーグ戦 ▼2017.01.17～02.07

町ナイターバレーボールリーグ戦は1月17日から2月7日まで、森のアリーナで行われました。9人制のバレーボールのルールで行われた大会には、町内外の7チームが参加。熱戦が展開されました。

【大会結果】①チーム滝川（八幡平市） ②ドンマイ ③奥中山V.B.C（一戸町） ④IMK ⑤KATTSU ⑥ファミリー ⑦チアーズ

町内外からたくさんの人が参加し熱戦を展開

優勝を果たしたゆはずFCのメンバー

ゆはずFCが見事に優勝！
○第23回雫石フットサル大会 ▼2017.02.11

雫石サッカー協会長杯第23回雫石フットサル大会は2月11日、雫石町営体育館で行われました。6市町から18チームが出場したこの大会には、町のサッカースポーツ少年団、ゆはずFCが出場。並み居る強豪チームを破り、見事優勝を果たしました。同チームの今後の活躍が大いに期待されます。

【大会結果】①ゆはずFC ②太田東スポーツ少年団（盛岡市） ③羽場飯岡スポーツ少年団（盛岡市）

世界と戦った技術を伝える
○元五輪選手のバレーボール教室 ▼2017.02.05

元五輪選手がコーチを務める町バレーボール教室は2月5日、森のアリーナで開催されました。日本オリンピアンズ協会の巡回指導事業として行われた同教室には、ミュンヘン五輪男子金メダリストの森田淳悟さんとアトランタ五輪女子日本代表の坂本清美さん、永富有紀さんがコーチとして参加。町内外の小中学生がレシーブやスパイクの基本技術を学びました。

また、当日はバレーボール未経験の児童も参加して競技に親しみました。沼宮内小の笈口幹太君（3年）は「バレーボールはあまりやったことがないけど、楽しかった」と笑顔。参加者にとって、世界と戦ったアスリートから手ほどきを受けられる貴重な機会となりました。

①子どもたちにスパイクの打ち方を教える坂本清美さん㊨　②森のアリーナのコートをいっぱいに使って行われたバレーボール教室　③教わった技術を生かして懸命にレシーブ

3月1日～7日は「子どもの予防接種週間」

予防接種お済みですか？

今月は山下真由保健師からのお便りです

予防接種の目的と効果

子どもは発育とともに外出の機会が多くなり、感染症にかかる可能性も高くなります。医療が発達した現在でも、かかると治療が難しく、重い後遺症が残ることがあり、時には命に関わる危険性があります。

予防接種は、ワクチンを接種することで身体の中に免疫をつくって発症を抑え、発症しても症状を軽くすることが目的です。接種することで感染症によって生じる体への負担を軽減することにつながる効果的な予防手段です。

感染拡大を防ぐ効果も

近年、定期予防接種の種類が増え、より多くの人が予防接種を受けられるようになりました。

予防接種には、多くの人が接種することで免疫を持つ人が増え、感染拡大を防ぐ集団免疫効果があります。実際に、水痘（水ぼうそう）は定期接種化後、4歳以下の患者報告数が減少したデータがあります。また、予防接種を受けた人だけでなく、病気などのために予防接種を受けることができない人や、抵抗力が弱い人を感染症から守ることにもつながります。

◆乳幼児期に受ける予防接種

予防接種名		対象年齢	接種回数
ヒブ		生後2カ月～5歳	最大4回
小児用肺炎球菌		〃	〃
B型肝炎		～1歳	3回
BCG		〃	1回
四種混合（ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ）		生後3カ月～7歳6カ月	初回3回 追加1回
ポリオ		〃	〃
麻しん風しん混合	1期	1歳～2歳	1回
	2期	平成28年度年長児	1回
水痘		1歳～3歳	2回
日本脳炎　1期		3歳～7歳6カ月	初回2回 追加1回

◆学齢期に受ける予防接種

予防接種名	対象年齢	接種回数
日本脳炎　2期	9歳～13歳未満	1回
二種混合（ジフテリア・破傷風）	小学6年生	1回
子宮頸がん予防ワクチン	中学1年生女子 ※積極的勧奨差し控え中	3回

期限確かめ早目に接種を

子どもたちの命を守るためにも、予防接種を受け、病気を予防していきましょう。

左表の定期予防接種は、予防接種法で定められた接種期間内であれば無料で受けられます。期限を過ぎると全額自己負担での接種となりますので、この機会にお子さんや、ご家族の予防接種が済んでいるか確認し、早めに接種しましょう。

予防接種についてわからないことがある場合には、かかりつけ医や健康福祉課にお問い合わせください。

在宅の重度障害者に

タクシー助成券を交付しています

申・問　役場健康福祉課福祉支援係　☎62-2111内線512、514

町は、在宅で重度の障害があり、次の条件に当てはまる人にタクシーの助成券を交付しています。

【交付対象者】　町内に住所があり、身体障害者手帳の障害程度が1級～2級、または療育手帳の障害程度がAの人。ただし、次の人は交付を受ける資格がありません。　①申請者本人と配偶者（児童の場合は扶養義務者）の前年の所得が一定額を超える人　②児童福祉施設に入所している人　③自動車税または軽自動車税の減免を受けている人　④特別支援学校の寄宿舎に入寮している人

【助成内容】　対象者1人につき1カ月に4枚の割合で、申請月から年度末までの分を一括交付します。1枚当たりの助成額は初乗り運賃の額とします

【申請方法】　身体障害者手帳または療育手帳と印鑑（スタンプ印以外）を持参し、役場1階の5番窓口で申請してください。なお、平成29年度分は4月3日(月)以降に受け付けします

図書館だより

町立図書館
☎62-2877

【3月の休館日】　毎週月曜日、24日(金)。ただし、20日(月・祝)は開館し、翌日21日(火)に休館します。

【開館時間】　9:00～18:00

3月7日(火)～4月9日(日)まで「本のこうかん市」を行います。詳細はお問い合わせください。

新着図書

ジャンル		書名	著者
一般向け	小説	柳生三代の鬼謀	鳥羽　亮
		合理的にありえない	柚木　裕子
	実用書	なぜ、「子供部屋」をつくるのか	藤原　智美
児童向け	絵本	たまごにいちゃんとたまごねえちゃん	あきやまただし
		きょうのおやつはなんだろな？	ふじもとのりこ
	読み物	にげたエビフライ	村上しいこ

図書館の行事

◇おはなし会◇

【日時】　3月26日(日) 午前11時～

【対象】　小学校就学前の親子

読み聞かせボランティア「おはなし☆きらきら☆」のおはなし会です

◇春休みチビッコ映画会◇

【日時】　3月23日(木)、30日(木) 午前10時、午後2時の2回

【対象】　幼児、小学生

岩手町観光ボランティアホームページ http://e-iwate.net/

ふるさと再発見 いわてまち探検隊 No.60

昭和2年竣功の「柳橋」

町の名所・旧跡や自然、歴史などを「岩手町観光ボランティアガイドの会」会員が毎月交代で紹介します。今月のガイドは伊藤久子さん(68歳)＝下大町＝です。

主要地方道岩手平舘線新町交差点の南側、大坊川に架かる「柳橋」。周辺の地区名も「柳橋」という

岩手町と葛巻町の境にある大坊峠（732・8メートル）付近を源流に北上川へ注ぐ大坊川に架かる「柳橋」。その名のとおり、かつては周囲に数本の太くて大きなシダレヤナギがあったようです。

上流南側の橋柱には「柳橋」、北側には「やなぎばし」、下流南側には「盛岡より九里七丁」、北側には「昭和二年十一月竣功」の文字が埋め込まれています。

橋の欄干の下はコンクリートになっているものの、欄干自体は木製で長い歴史が感じられ、深い味わいがあります。

なお、近くには城下町特有の桝形の道路がありますが、今はゆるやかなカーブとなっています。

文化・情報

まちの文芸

短歌

初もうで新たな願ひたくせしも黙礼の間に心変はれり　志田　悦朗

浅草の演芸ホールに夫と来て至福の時をしばし過せり　愛木タエ子

戴きし手作りケーキ切り分けて足弱き友へ吾は持ち行く　岩舘　カツ

夜明け前除雪車通る音のして朝の雪かき覚悟し眠る　五十地キミ子

大寒が過ぎ去り春近づけど今朝も厳しき寒さ身にしむ　橋本　チヨ

俳句

扉閉め野中の祠冴返る　遠藤　金作

道路灯昼を灯して雪の降る　遠藤　初枝

雲割つて岩手山より風花す　昆野　功夫

真冬日は日がな湯宿に話咲く　志田　悦朗

寝静まる一筋町や寒昴　柴田　ヒノ

雪掻いて父母の墓碓かめん　向井　梅子

風呂吹の冷めたるも乙と話好き　山口　國男

仲見世の声の響きや初詣　高橋　麗子

川柳

席題「注射」　土橋はつお　選

〈佳作〉

ねばり囲碁死んだ石にも注射うつ　久慈　正和

裸の児泣かねばならぬ注射の日　菊池　一覚

注射より寝て汗かけと医師が言う　四日市俊悦

治る気にさせる名医の注射針　柴田　満子

〈秀逸〉

予防接種していたのに風邪を引き　佐藤　小草

一本の注射に国の貧富かな　白馬峰三乙二

点滴の雫に術後を諭される　鍋倉るみ子

男皆妻の注射に身を縮め　馬渕　草

痛いのを我慢する予防注射　自　句

情報インデックス

岩手町役場 ☎ 62-2111
問 問い合わせ先
申 申し込み先

募集します

農業入門塾の塾生募集

■いわて農業入門塾

県立農業大学校は、いわて農業入門塾の塾生を募集します。新たに農業を始める上で知っておきたい基礎知識が身に付きます。

【研修場所】 県立農業大学校
【研修期間】 5月6日(土)～10月21日(土) ①実習 毎週土曜日午後1時～3時30分 ②講義 隔週土曜日午前10時～11時30分 (変更の可能性あり)
【栽培実習品目】 ○施設栽培 トマト、ミニトマト、ナス、ピーマン ○露地栽培 ネギ、スイートコーン、落花生、サトイモ、サツマイモ、カボチャ、スイカ、ニンジン、キャベツ、白菜、レタス、ダイコン、タマネギ、ニンニクなど
【経費】 1万5千円(傷害保険、教材代)
【応募締切日】 3月31日(金)
【応募方法】 専用の受講申込書に記入してFAXまたは郵送で申し込みください。受講申込書は県立農業大学校または役場農林環境課に備え付けています
申・問 県立農業大学校教育部研修科 〒029-4501 胆沢郡金ケ崎町六原蟹子沢14 ☎0197-43-2211 ○FAX0197-43-3184

看護体験の参加者募集

■ふれあい看護体験を開催

県看護協会は、ふれあい看護体験の参加者を募集します。看護を通じて命の大切さと看護の仕事について理解と関心を深めましょう。

【実施期間】 5月7日(日)～13日(土)
【対象者】 中・高校生、一般
【参加者受け入れ施設】 病院、訪問看護ステーション、市町村保健センター、介護福祉施設など
【申込方法】 中・高生は学校を通じて、一般は県看護協会ナースセンター事業部へ直接電話で申し込みください
【申込締切日】 3月28日(火)
申・問 公益社団法人 県看護協会 ナースセンター事業部 ☎019-663-5206

国家公務員の採用試験

■総合職・一般職

人事院では、国家公務員採用試験を行います。

試験名	受付期間	第1次試験日
総合職試験(院卒者・大卒程度)	【インターネット】3月31日(金)～4月10日(月)	4月30日(日)
一般職試験(大卒程度)	【インターネット】4月7日(金)～19日(水)	6月18日(日)
一般職試験(高卒者)	【インターネット】6月19日(月)～28日(水)	9月3日(日)

【その他】 申込期日や試験日が試験の区分によって異なります。詳しい内容は人事院に問い合わせるかホームページで確認してください。
申・問 人事院東北事務局 第二課試験係 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-2-23 ☎022-221-2022 ○人事院ホームページ http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm

行われます

陸上自衛隊定期演奏会

■岩手駐屯地音楽隊

陸上自衛隊岩手駐屯地は、第31回陸上自衛隊岩手駐屯地音楽隊定期演奏会を行います。入場は無料。先着入場で満員になり次第入場を閉め切りますのでご注意ください。

【日時】 3月12日(日)午後2時15分開場、3時開演
【開場】 盛岡市民文化ホール(マリオス)大ホール
【出演】 岩手駐屯地音楽隊、巌鷲太鼓、駐屯地らっぱ隊、秋田駐屯地音楽隊
問 陸上自衛隊岩手駐屯地司令業務室 ☎019-688-4311(内線256)

合同企業説明会を開催

■岩手労働局

岩手労働局と県は、平成30年3月大学等卒業・修了予定者と3年以内既卒者の県内就職促進の一環として「いわてで働こう!合同企業説明会」を開催します。

【日時】 3月22日(水)午後0時30分～4時30分
【場所】 ホテル東日本盛岡(盛岡市大通3-3-18)
【内容】 ○学生等に対する企業情報の提供 ○関係団体による就職支援情報の提供
問 岩手労働局職業安定課 ☎019-604-3004

健康づくりのイベント

■盛岡医療生活協同組合

盛岡医療生活協同組合は、「つながろう 健康の輪」をテーマに2016年度健康づくりフェスタを開催します。

【日時】 3月29日(水)午前10時～正午
【場所】 県営体育館(盛岡市青山2-4-1)
【内容】 ①全体会 認知症予防体操 ②三二講座 ・リズム体操 ・笑いケア体操
【その他】 減塩の取り組み方法を紹介する「すこしお生活コーナー」、血圧や体脂肪、握力、骨量測定ができる「健康チェックコーナー」もあります
問 盛岡医療生活協同組合 ☎019-635-6253

点訳と音訳の編集製作

■視聴覚障がい者情報センター

県立視聴覚障がい者情報センターは、点訳や音訳、録音図書の編集体験会を開催します。見えない・見えにくい人のための図書を製作するボランティア体験と説明会です。

【日時】 4月14日(金)①午前10時～ ②午後1時～
【場所】 県立視聴覚障がい者情報センター(いわて県民情報交流センター アイーナ4階)
【対象者】 点字図書館部門奉仕員(点訳奉仕員・録音図書製作奉仕)に興味がある人
【内容】 センター内の見学や点字、音訳、録音編集を体験。希望者には、ボランティアサポーターの養成講座も開講します
【その他】 申し込みは不要
申・問 県立視聴覚障がい者情報センター ☎019-606-1743

その他

引越しの水道手続きを

■水道事業所

3月から4月は引越しのシーズンですが、引っ越しの際は水道の手続きを忘れずに行いましょう。住居を出る場合は水道の使用中止手続きを、新たに入居する場合は使用開始の手続きを引越しの3日前(土・日・祝日を除く)までに水道事業所に届出ましょう。手続きは、役場水道事業所窓口のほか、電話でも受け付けています。手続きの際は契約者の氏名、現住所、使用中止(開始)の希望日、引っ越し先の住所、日中に連絡が取れる電話番号をあらかじめ用意しておくと、スムーズに手続きできます。

また、住居を出る際は水抜きをして元栓(不凍栓)をしっかりと閉めてください。

問 役場水道事業所管理係 ☎62-2111内線334

農林業系副産物焼却時の放射性物質測定結果

(平成28年12月、平成29年1月測定分)

岩手・玉山環境組合で行う、国が定める放射性物質濃度の基準値を超えた農林業系副産物(ほだ木、牧草、稲わらなど)の焼却処分に伴い、焼却時の放射性物質の濃度をお知らせします。昨年の12月、今年の1月分の測定結果は、以下のとおり**「全ての項目が不検出または、基準値以下」**で安全性が確認されました。

問 ○役場農林環境課農林振興係☎62-2111内線303 ○岩手・玉山環境組合☎019-682-0552

❶処理対象副産物 単位：ベクレル／kg

試料採取日	処理対象物	焼却量	放射性セシウム(134cs+137cs)
H28.12.13	牧草	1,490kg	14.31
H28.12.14	ほだ木	1,940kg	1.05
H29. 1.26	牧草	1,220kg	26.69
H29. 1.27		1,260kg	111.76

※いずれも国の基準値8,000ベクレル/kg以下のため、**一般廃棄物としての取り扱い**となります

❷排ガス測定結果 単位：ベクレル／m^3

試料採取日	焼却炉	放射性セシウム	
		134cs	137cs
H28.12.13	1号炉	不検出	不検出
H28.12.14	2号炉		不検出
H29. 1.26	1号炉		0.48
H29. 1.27	2号炉		0.53

※牧草、ほだ木焼却中、ろ紙部およびドレイン部で測定

❸焼却灰 主灰「燃え殻」 単位：ベクレル／kg

試料採取日	焼却物	放射性セシウム	
		134cs	137cs
H28.12.13	牧草	不検出	18.00
H28.12.14	ほだ木		不検出
H29. 1.26	牧草		21.00
H29. 1.27			18.00

❹焼却灰 飛灰「集じん灰」 単位：ベクレル／kg

試料採取日	焼却物	放射性セシウム	
		134cs	137cs
H28.12.13	牧草	22.00	150.00
H28.12.14	ほだ木	22.00	140.00
H29. 1.26	牧草	33.00	190.00
H29. 1.27		64.00	340.00

※❸❹の基準値は、国の基準値8,000ベクレル/kg以下、組合独自の受け入れ基準値1,000ベクレル/kg以下です
測定結果は、いずれも**基準値を大きく下回っています**

❺空間放射線量測定結果

施設内および施設周辺の空間放射線量は、0.03～0.06マイクロシーベルト/時となっており、**国の基準である0.19マイクロシーベルト/時を大きく下回っています**

❻副産物処理量

平成28年12月	32,930kg
平成29年1月	24,850kg

3月 町民カレンダー

日（曜）	時間	行事名	場所
4（土）	9:00 ～ 17:00	第17回町埋蔵文化財展 （4月9日まで）	石神の丘美術館
	10:00 ～ 15:00	第15回まんぷくそばフェスタ （5日まで）	プラザあい
7（火）	18:30 ～ 20:30	コミュニケーションセミナーin岩手町 （男性向け）	プラザあい
8（水）	12:30 ～	1歳6カ月児健康診査 （平成27年8月9日～9月8日生まれ）	町保健センター
		3歳児健康診査 （平成25年7月9日～9月8日生まれ）	町保健センター
	18:30 ～ 20:30	コミュニケーションセミナーin岩手町 （女性向け）	プラザあい
10（金）	9:30 ～ 12:00	妊婦教室2回目 （平成29年4月～7月出産予定の女性）	町保健センター
	13:00 ～ 16:00	もうすぐママのほっと一息カフェtime	町保健センター
12（日）	13:30 ～	第17回埋蔵文化財展関連催事 髙橋昭治氏講演会	石神の丘美術館
14（火）	9:30 ～	沼宮内中卒業式	沼宮内中学校
15（水）	9:30 ～ 12:00	離乳食教室 （平成28年11月生まれのお子さんの家族）	町保健センター
	10:00 ～ 15:30	盛岡年金事務所出張相談 （要予約：盛岡年金事務所☎019-623-6211）	ゆはず交流館
	10:00 ～	川口中卒業式	川口中学校
	10:30 ～	一方井中卒業式	一方井中学校
16（木）	10:00 ～	まんまと湯っこの会	町老人福祉センター
17（金）	9:00 ～ 12:00	人権・行政相談	町勤労青少年ホーム
	10:00 ～	沼宮内小、川口小、一方井小、久保小卒業式	各小学校
18（土）	10:00 ～	水堀小卒業式	水堀小学校
21（火）	13:00 ～ 16:00	悪質商法トラブル・多重債務出前相談会 （要予約：役場総務課防災交通係☎62-2111内線203）	町総合開発センター
23（木）	10:00 ～ 12:00	子育てサロン“すくすく”	町保健センター
27（月）	9:30 ～ 16:30	献血　9:30~11:30　JA新いわて岩手支所 13:30~16:30　岩手町役場	各事業所
28（火）	12:20 ～ 12:45 ～	9カ月児健康診査（平成28年6月生まれ） 6カ月児健康診査（平成28年9月生まれ） 1歳児健康診査（平成28年3月生まれ） ※乳幼児の健診を希望する人はどなたでもおいでください	町保健センター

4月

広報いわてまち 次号は4月13日㈭発行予定

本紙は原則、毎月第1木曜日に発行していますが、次号は年度替わりのため、4月13日㈭の発行となります。ご了承ください。

日（曜）	時間	行事名	場所
6（木）	13:30 ～	沼宮内中入学式	沼宮内中学校
	14:00 ～	一方井中入学式	一方井中学校
7（金）	10:00 ～	沼宮内小、川口小、一方井小、久保小入学式	各小学校
	13:15 ～	川口中入学式	川口中学校
8（土）	10:00 ～	水堀小入学式	水堀小学校
16（日）	9:00 ～ 13:00	町スポーツ少年団結団式・体力テスト	森のアリーナ

※広報掲載後に予定が変更になる場合もありますが、そのときは、回覧や町ホームページなどでお知らせします。なお、町内の団体などもこの欄をご利用ください。

医療

休日当番医【受付時間】9:00～17:00

3月

日（曜）	当番医
5（日）	佐々木医院
12（日）	佐藤整形外科クリニック
19（日）	沼宮内地域診療センター
20（月）	岩手沼宮内クリニック
26（日）	佐々木医院

4月

2（日）	塚谷医院
9（日）	佐渡医院

当番医実施医療機関の電話番号

- ▶岩手沼宮内クリニック ☎61-2025
- ▶北上脳神経外科クリニック ☎61-3636
- ▶佐々木医院 ☎62-2234
- ▶佐藤整形外科クリニック ☎68-7240
- ▶佐渡医院 ☎62-3211
- ▶さわやかクリニック ☎62-2043
- ▶塚谷医院 ☎62-1155
- ▶沼宮内地域診療センター ☎62-2511

県立中央病院附属 沼宮内地域診療センター

診療科	診療日	受付時間
内科	月～金曜日	8:30～11:30（午後随時）
外科	月～金曜日	診療時間 9:00～17:00

応援診療科（3月）

脳神経外科 ※要予約	14日	8:30～11:00
循環器(内科) ※要予約	6、13、27日	13:00～15:30
小児科	10、24日	13:00～16:00
皮膚科	14、28日	13:00～15:30
整形外科	17日	8:30～11:30

※休日当番医、応援診療科は予定を変更する場合がありますので、あらかじめ電話で確認の上、来院ください。

子どもが急病のとき

こども救急相談電話

【受付時間】 午後7時～11時（年中無休）
【電話番号】 局番なしの☎#8000 ※ダイヤル回線電話、ＩＰ電話（ひかり電話）、ＰＨＳからは☎019-605-9000

診療時間外の受診

■症状が軽い場合
【受診場所】 盛岡市夜間急患診療所
盛岡市神明町3-29盛岡市保健所2階 ☎019-654-1080
【受付時間】 午後7時～11時

■症状が重い場合
【受診場所】 小児救急入院受入当番病院
下記予定表のとおり

日	月	火	水	木	金	土
			3/1 中央	2 医大	3 中央	4 医大
5 中央	6 医大	7 川久保	8 中央	9 医大	10 中央	11 こども
12 日赤	13 医大	14 川久保	15 中央	16 医大	17 中央	18 医大
19 中央	20 医大	21 川久保	22 日赤	23 医大	24 中央	25 こども
26 中央	27 医大	28 中央	29 医大	30 中央	31 医大	4/1 中央
2 日赤	3 医大	4 川久保	5 中央	6 中央	7 医大	8 こども
9 医大	10 医大	11 川久保	12 中央	13 医大	14 中央	15 医大

【受付時間】 土曜日は午後1時～5時、夜間は午後5時～翌朝9時
【対象】 症状が重く入院が必要と思われる子どもと、盛岡市夜間急患診療所や休日当番医が診療していない時間帯の急病の子どもを受け入れます
【注意点】 日中の診療時間に受診できる人は、時間内に受診しましょう。また、重症な子どもの治療に支障をきたさないよう、まずは盛岡市夜間急患診療所を受診しましょう。日曜、祝日の日中は休日当番医を受診してください

■当番病院の連絡先
【中　央】県立中央病院 ☎019-653-1151
【日　赤】盛岡赤十字病院 ☎019-637-3111
【医　大】岩手医科大学附属病院 ☎019-651-5111
【こども】もりおかこども病院 ☎019-662-5656
【川久保】川久保病院 ☎019-635-1305

こころといのちを支えるいわて

一人で悩まず相談ください

■町傾聴ボランティア「おひさま」

「おひさまサロン」
※予約不要です。悩み事を話してみませんか？
【開催日】毎月第2、第4月曜日（祝日の場合翌日）
【時　間】午後1時～3時
【場　所】プラザあい1階

■盛岡いのちの電話☎019-654-7575（正午～午後9時、日曜日のみ午後6時まで） ■県精神保健福祉センター☎019-622-6955（午前9時～午後4時30分） ■役場健康福祉課☎0195-62-2111（内線518）

よろこびかなしみ

1月受け付け分

●お婿さん、お嫁さん● 4組（4組）

▼1月

日	お名前	世帯主	行政区
1	佐々木　豊	正　男	新　町
	谷　澄子	昌　紀	大阪府
1	松村　和樹	栄　一	下浮島
	引木　瑞穂	勉	大金沢
18	田中　勇樹	均	土　川
	上山　陽	和　広	川原木
29	早野　信人	本　人	上愛宕下
	小沢　みさき	本　人	上愛宕下

●生まれたお子さん● 3人（6人）

▼1月

日	お名前	保護者	行政区
4	宮田　翔聖（とうま）	翔　己	下愛宕下
11	柳本　敦生（あつき）	和　也	一本柳
19	白畑　李汐（りせ）	邑　樹	上愛宕下

●亡くなられた人● 22人（29人）

▼12月

日	お名前（年齢）	世帯主	行政区
31	小林　カヨ　(86)	信　夫	上愛宕下

▼1月

1	田村　姫子　(88)	本　人	一方井
2	田山　ミチヨ　(81)	精　作	下五日市
2	西舘　省三　(82)	本　人	笈の口
4	澤口　五郎　(88)	ミチエ	新　町
5	澤口　縁　(54)	幸　雄	新　町
6	宇部　イマ　(92)	幸　治	下苗代沢1
6	櫻場　吉太郎　(87)	一　吉	橋　場
8	遠藤　チヨ　(88)	正　求	一方井
9	山口　務　(67)	義　則	上五日市
13	白椛　由男　(64)	和　博	相寅瀬
14	大石　保子　(80)	六　郎	下苗代沢2
17	佐藤　ミサ　(85)	本　人	境　田
17	千葉　ナミ　(89)	ゆ　み	葉木田
19	佐々木　セキ　(84)	本　人	駅　前
21	森　清八郎　(81)	ヤ　ヱ	上横沢
21	澤口　サキ　(84)	本　人	朽木林
21	五日市　キヱ　(78)	本　人	上野口町
22	髙橋　操　(80)	本　人	犬　袋
23	菊池　禮太郎　(93)	任　洋	下野口町
24	伊藤　政行　(67)	知恵子	境　田
24	民部田　豊吉　(71)	本　人	川原木

組数、人数の（ ）内は実数です。お婿さんお嫁さんは、結婚して町内に住所がある人を掲載しています。
広報に掲載を希望しない人は、届け出のときに町民課にお話ください。

広報 いわてまち
町のいまを伝える
Iwate-machi Monthly Public Relations Paper
No.693
2017年【平成29年】3月1日発行

■編集／岩手町企画商工課
〒028-4395 岩手県岩手郡岩手町五日市10-44
☎0195-62-2111 FAX0195-62-3104

■町防災行政無線の放送内容確認 ☎0195-62-5367（自動応答電話）
■町公式ウェブサイトアドレス http://www.town.iwate.iwate.jp
■町公式ツイッターアカウント @iwatemachi_koho

いきいきサークル No.40

夏も冬もホッケーで笑顔 ネオホッケーチーム「てば」

各年代のホッケープレーヤーらが集まり、ネオホッケーなどを通じて笑顔で交流を深める「てば」の皆さん

代表：柴田悦子（43）＝上五日市＝
会員：15人

ホッケー経験者を中心に、仲間同士で声を掛け合って結成された笑顔あふれるサークル「てば」。誰でも気軽に楽しめるニュースポーツの1つで、プラスチック製のスティックとボールを使い、室内で行う競技、ネオホッケーを楽しむ「てば」の皆さんは、沼宮内公民館で行われている沼宮内地区ネオホッケーリーグ戦に参加しています。

女性が中心のチームですが、男性の参加者が多い同リーグ戦で一昨年は見事に優勝。過去には、葛巻町で行われる大会にも出場経験がある実力派のチームです。冬期の主な活動はネオホッケーですが、夏場はホッケーのマスターズ全国大会にも「てば」のメンバーが中心となって出場。ホッケーの町・岩手町を盛り上げています。

代表の柴田さんは「各年代が集まって楽しく活動しています。もちろん、祝勝会や反省会も！」と笑顔。チーム全体が一つになって活動している「てば」は、〝笑顔〟と〝一体感〟がトレードマークの輝く女性アスリートチームです。

「いきいきサークル」では、町内で活動するスポーツ、文化、ボランティアなどのサークルやさまざまな団体を紹介します。　問 役場企画商工課企画広報係 ☎62－2111 内線215へ

美術館へ行こう

第17回 岩手町埋蔵文化財展
縄文から古代までの記憶
～髙橋昭治コレクション～

3月4日（土）から4月9日（日）まで

＊＊＊ 髙橋昭治講演会 ＊＊＊
岩手町考古学の始まり／エジプトの遺跡とくらし
日時：3月12日（日）午後1時30分
場所：石神の丘美術館ホール

【開館時間】午前9時～午後5時　【休館日】毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）　観覧無料

【同時開催 ホール展】コレクションによるテーマ展〈みる！岩手県岩手郡岩手町一方井 ― 油彩、水彩版画、デザイン―〉

問 石神の丘美術館 ☎62－1453

人口の動き

H29.1.31現在　（ ）内は前月比

【人口】　男　6,856人（△14）
　　女　7,164人（△13）
　　計 14,020人（△27）
【世帯】　5,439世帯（△12）
【出生】　6人　【死亡】　29人
【転入】　11人　【転出】　15人
【外国人住民】　138人

編集後記

町の皆さん、広報いわてまちいかがでしたか。わが町で地域力を高め合い、日本一の町を目指そうと行われたサミット。このサミットに町内外から集まった約600人はひたむきに地元での活動を盛り上げてくれているいわば地域力の源。ワンランク上の地域を目指すみなさんの心意気は取材で訪問する時に感じる魅力の一つです。それぞれの地域や団体で夢や目標などは違っても、取り組んでいる人たちの表情はみんな豊かで素敵です。

（遠藤康平）